

§ 協会の動き（平成 27 年 9・10 月分）

☆ 第二種電気工事士試験 受験準備講習会(下期筆記コース)を実施

[担い手育成：技術研究委員会事業]



第二種電気工事士試験の受験準備講習会が 9 月 1 日より開講いたしました。

関根康明氏（SEEDO 代表）を講師に迎え、一般用電気工作物の保安・法令、配線図・鑑別、配電理論等を学びます。

建産連研修センターにおいて 9 月末までの計 4 日間の日程で行われ、本試験は 10 月 3 日、合格発表は 11 月 6 日になります。

☆ 第一種電気工事士検定試験 受験準備講習会(筆記コース)を実施

[担い手育成：技術研究委員会事業]

8 月から 9 月にかけて、小泉一夫氏（ケイ・教育企画サポート事務所代表）を講師に迎え、第一種電気工事士検定試験受験準備講習会を実施いたしました。この講習会は大変人気が高く、9 月 3 日より追加開催されました講習会には関根康明氏（SEEDO 代表）を講師に迎え、建産連研修センターにおいて 10 月 2 日までの計 5 日間の日程で行いました。

受験予定の 16 名の受講生は、電気に関する基礎理論から応用、電気工事の施工方法、配電図等を学び、過去問題の演習により 10 月 4 日の本試験突破を目指します。合格発表は 11 月 6 日になります。



☆ 平成 27 年度『災害復旧対策講習会』の開催

[事故防止対策委員会事業]

事故防止対策委員会では、協会で作成している『災害実働マニュアル』の見直し内容説明に加え、防災に関する知識習得のため、当講習会を毎年開催しております。

今年度は 9 月 11 日(金)、埼玉県産連研修センターに関係者約 70 名が集まり以下の内容で行われました。

- 第 1 部 講和「埼玉県の防災対策について」 埼玉県危機管理防災部
消防防災課 災害対策担当 主事 森脇 清貴氏
- 第 2 部 講和「東日本大震災後の福島県の取り組みについて」
一般社団法人 福島県電設業協会（いわき支部）
岩電機工事株式会社 代表取締役 蛭田 淳氏
- 第 3 部 「災害時の実働について」 事故防止対策委員長 町田浩征

開講にあたり島村会長が「大雨の影響で鬼怒川の堤防決壊などがあり、地元対応に追われ本日講習会に参加できない会員もいる。講習会を通じ災害実働マニュアルが役に立つ実効性あるものと確信している。東日本大震災から 4 年半が経ったが、復興は未だ道半ば。福島県電設業協会から蛭田様が来てくださったので、現状や災害時の対応など教訓となるお話がいただけるはず。協会では会員各社が

保有している設備などを考慮し、災害マニュアルを進歩させてきた。ライフラインである電気設備を守っているという気概を持って社会に貢献していきたい」と挨拶しました。

第1部では県の災害対応体制、防災計画、災害対応事例について解説。災害対策本部の初動フローや地域防災計画について説明されました。

第2部では、協定を結んでいた災害マニュアルのとおり指示系統が機能せず混乱に陥ったこと、復興住宅の現状、震災を通して見えてきた行政・協会・会員企業としての課題を示されました。

最後に協会から災害時の実働体制について説明をし講習会を終了しました。

協会では平成25年度に続き福島県への東日本大震災復興支援・視察会を開催、また(一社)福島県電設業協会を通し、震災復興支援義援金をお贈りしたいと準備しております。会員の皆様、ご支援くださりありがとうございます。



埼玉県危機管理防災部 小山氏



森脇氏



蛭田氏

会長挨拶



町田委員長



☆ 2級電気工事施工管理技術検定試験 受験準備講習会(実地コース)を実施

[担い手育成：技術研究委員会事業]

2級電気工事施工管理技術検定試験の準備講習会が9月15日に開講いたしました。

小泉一夫氏(ケイ・教育企画サポート事務所代表)を講師に迎え、建産連研修センターにおいて10月26日までの計6日間の日程で行われます。約20名の受講生たちは本試験に向け真剣に講習に取り組んでいます。

本試験は11月8日、合格発表は2月5日となります。



☆ 1級電気工事施工管理技術検定試験 受験準備講習会(実地コース・熊谷会場)を実施

[担い手育成：技術研究委員会事業]

1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会を熊谷市スポーツ・文化村くまびあにて9月20日より4日間の日程で実施。これは8月より埼玉会場で開催しております受験準備講習会と同様、小泉一夫氏(ケイ・教育企画サポート事務所代表)を講師に迎え、15名の受講者は模



擬試験形式で徹底的に弱点を克服。模擬試験の結果を踏まえた個別学習指導で試験突破を目指します。

☆ 平成27年度企業対策セミナーの開催

[企業対策委員会事業]

10月21日(水)15:00から全電通埼玉会館にて、東日本建設業保証(株)埼玉支店様との共催で開催いたしました。当日は協会会員企業の経営者および営業担当者などおよそ40名が参加。テーマは「マイナンバー(番号)制度と建設業者(民間事業者)の対応～マイナンバー対応に伴う問題とは～」で、税理士法人あすなる代表の森谷修一氏が講師として、制度の目的と役割から業務とマイナンバーの関わり、特定個人情報の保護措置や具体的対策等を90分にわたり解説してくださいました。

冒頭、熊田副会長がセミナーの趣旨と概要を説明し、「マイナンバーは今後、人が生まれれば必ず一人にひとつずつ振られる大切なもの。非常に分かりやすい解説をいただけるので、保管方法などで間違いや誤解のないよう、しっかりと制度を把握して仕事に役立てていただきたい」と挨拶。



セミナー後は会場を変えて出席会員の懇親会を開催し、支部を越えた会員間の交流を活発に行いました。